

**製品名: Endo180 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10461**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	167kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MRC2 MRC2; CLEC13E; ENDO180; KIAA0709; UPARAP; C-type mannose receptor 2; C-type lectin
別名	domain family 13 member E; Endocytic receptor 180; Macrophage mannose receptor 2; Urokinase-type plasminogen activator receptor-associated protein; UPAR-asso
遺伝子 ID	9902.0
SwissProt ID	Q9UBG0
免疫原	抗血清はヒト MRC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

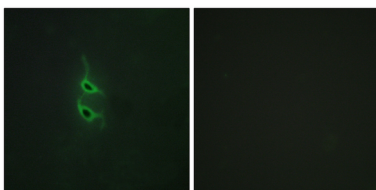
**背景**

マンノース受容体 C 型 2 (MRC2) ホモサピエンス この遺伝子は、フィブロネクチン II 型ドメインと複数の C 型レクチン様ドメインを含むマンノース受容体ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、コラーゲンリガンドの内在化とリソソーム分解を媒介することにより、細胞外マトリックスのリモデリングに関与しています。この遺伝子の発現は、乳がん、神経膠腫、転移性骨疾患など、いくつかの悪性腫瘍の腫瘍形成および転移に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2012年2月]、ドメイン: C 型レクチンドメイン 3~8 は、マンノース、フコース、および N-アセチルグルコサミンのカルシウム依存性結合には不要です。C 型レクチンドメイン 2 は、カルシウム依存的に糖結合を担っています。ドメイン: フィブロネクチン II 型ドメインはコラーゲン結合を媒介します。ドメイン: リシン B 型レクチンドメインは、2 番目の C 型レクチンドメインと接触します。機能: カルシウム依存性レクチン活性を示すエンドサイトーシスレクチン受容体としての役割を果たす可能性があります。グリコシル化リガンドを細胞外スペースから内部移行させ、クラスリンを介したエンドサイトーシスを介してエンドソーム区画に放出します。PLAUR/PLAU の細胞外レベルを制御するプラスミノーゲン活性化システムに関与している可能性があり、それによって細胞表面のプロテアーゼ活性を制御している可能性があります。細胞外コラーゲンマトリックスの細胞内取り込み、リモデリング、分解に寄与している可能性があります。癌の進行中だけでなく、コラーゲンのターンオーバーに作用するその他の慢性組織破壊性疾患においても役割を果たしている可能性があります。マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) と共同して細胞外マトリックスのリモデリングに関与する可能性がある。オンライン情報: Endo180、PTM: N-グリコシル化、PTM: リン酸化、類似性: 1つのフィブロネクチンタイプ II ドメインを含む。類似性: 1つのリシン B 型レクチンドメインを含む。類似性: 8つの C 型レクチンドメインを含む。サブユニット: I 型コラーゲン/COL1A1 の C 末端領域と相互作用する (類似性による)。PLAUR/UPAR および PLAU/pro-UPA と直接相互作用して 3 分子複合体を形成する。コラーゲン V と相互作用する。組織特異性: 脳、胎盤、肺、腎臓、膵臓、脾臓、胸腺、結腸に遍在するが、発現は低い。内皮細胞、線維芽細胞、マクロファージで発現する。胎児の肺と腎臓で高発現しています。

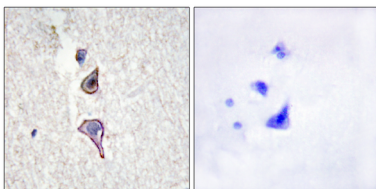
## 研究分野

-

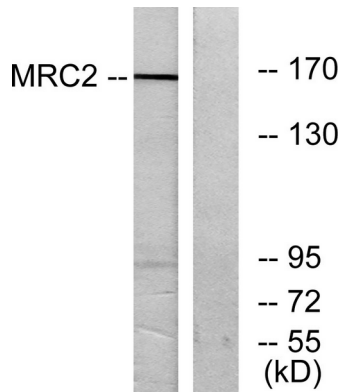
## 画像データ



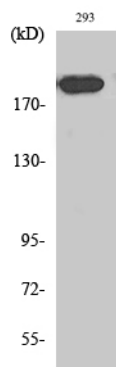
MRC2 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



MRC2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



MRC2 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



エンド 180 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。